

令和5年度 岩手県立大学宮古短期大学部  
一般選抜（一般選抜 A・一般選抜 B）・外国人留学生選抜

解答例・出題の意図等

【問題全体についての出題の意図】

思考力・判断力・表現力を総合的に評価する。全国で問題となっている空き家問題に対して、「負の遺産」と「空き家の活用」を双方の側面から問題を理解し、設問の趣旨に沿って自分の意見を論じることが求められる。

〔問1〕

■解答例

日本では、人口減少に伴い空き家数が増加している。空き家が増加すると、防犯や景観面で周囲に悪影響を及ぼし、負の遺産になる可能性があるが、その一方で移住を促進する手段として空き家を活用する地域もある。自治体・企業・住民との連携を図り、空き家を資産として活用すれば、地域再生につながる可能性がある。空き家を活用するカギとして、民間のノウハウの活用、移住者に応じた規制緩和、まちづくりとの連動が挙げられる。(199字)

■評価のポイント

出題文で取り上げている空き家問題に対する取り組みを出題文から適切に要約し、負の側面と空き家の活用の動きについて適切に表現することが求められる。

〔問2〕

■出題の意図・評価のポイント

出題文に書かれている空き家問題をはじめとした地域が抱える身近な諸問題(人口減少、少子高齢化、地域の衰退など)に対して興味関心を持ち、その内容を理解し、考えたことを適切な文章で表現し、明瞭な論旨をもって、論理的かつ説得力のある文章で論じることが問われている。